



原発をなくす全国連絡会 ニュース

2018年2月15日 NO.18

〒113-8465 東京都文京区湯島 2-4-4 平和と労働センター7F

<https://www.no-genpatu.jp> mail: no-nukes@min-ire.ne.jp

2. 6福島新署名提出院内集会開催

原発をなくす全国連絡会とふくしま復興共同センターは、2月6日、参議院議員会館にて、2.6福島新署名提出院内集会を開催しました。当日は14団体32名の参加でした。

福島新署名は、福島第二原発の廃炉、全国全ての原発の再稼働を行わず、廃炉とすること、避難者の実情に応じた住まいの確保、生業の再建、徹底した除染と完全賠償、県民の健康管理への責任を果たすことを求める署名で、2016年10月より取り組んできました。

本集会では、国と東京電力が原発事故の加害者として責任を果たすことを求める署名を54,259筆提出しました。これまで提出された署名190,591筆と合わせて、合計提出分は244,850筆となりました。全国から本当に多くの署名をお寄せいただきました。ありがとうございました。

まだ本署名がお手元にあれば、原発をなくす全国連絡会までお送りください。

以下、本署名の紹介議員一覧と主な挨拶・発言者を掲載します。



今回提出した福島新署名⇒



本署名の紹介議員一覧 ※敬称略

◇衆議院議員

- | | | | |
|-------------|--------------|--------------|-------------|
| ・赤嶺 政賢 (共産) | ・池内 さおり (共産) | ・梅村 さえこ (共産) | ・大平 喜信 (共産) |
| ・笠井 亮 (共産) | ・金子 恵美 (民進) | ・穀田 恵二 (共産) | ・近藤 昭一 (立憲) |
| ・斉藤 和子 (共産) | ・志位 和夫 (共産) | ・塩川 鉄也 (共産) | ・島津 幸広 (共産) |
| ・清水 忠史 (共産) | ・高橋 千鶴子 (共産) | ・畑野 君江 (共産) | ・畠山 和也 (共産) |
| ・藤野 保史 (共産) | ・牧 義夫 (希望) | ・真島 省三 (共産) | ・本村 伸子 (共産) |

◇参議院議員

- | | | | |
|--------------|-------------|------------|-------------|
| ・市田 忠義 (共産) | ・井上 哲士 (共産) | ・岩渕 友 (共産) | ・紙 智子 (共産) |
| ・吉良 よし子 (共産) | ・倉林 明子 (共産) | ・小池 晃 (共産) | ・斎藤 嘉隆 (民進) |
| ・大門 美紀史 (共産) | ・武田 良介 (共産) | ・舟山 康江 (無) | ・増子 輝彦 (民進) |

計、衆議院 20 名、参議院 12 名(2018 年 2 月 15 日現在)

【主な挨拶・発言者】

①開会あいさつ：小田川義和氏（全労連議長）

今年は原発を重要なベースロード電源と位置づけるエネルギー基本計画の改定が論議をされている。これを一つの焦点に置きながら当面する取り組みを全国連絡会としても進めている。今日提出する署名に続いてエネルギー基本計画の見直しを求める署名への協力をぜひお願いをしたい。

本日の行動を成功させると同時に、エネルギー基本計画のなかでも原発ゼロの決断をさせていくという動き、世論をつくりあげていくために一緒に力を合わせていきたい。



②国会議員あいさつ：岩渕友氏（日本共産党参議院議員）



とめよう！原発再稼働！かえよう！福島切り捨て政治の署名が全国からたくさん寄せられており、皆さんと思いをはひとつにして私も全力で奮闘したい。

原発事故からまもなく6年11ヶ月、今年の3.11で7年を迎えることになる。いま安倍政権のもとで原発再稼働、海外輸出がどんどん進められている。こういう原発推進の一方で、福島の事故がもう終わったことにされようとしている。

生業訴訟では国と東京電力を断罪するという判決が出された。国と東京電力にしっかり責任を果たさせていく運動を皆さんとともに広げていきたい。

③国会議員あいさつ：紙智子氏（日本共産党参議院議員）



まだ原発事故の原因も解明されておらず、汚染水の問題も解決されていない。そういうなかで原発事故がなかったことにされようとしている。皆さんが一筆一筆集めていただいたこの貴重な署名をしっかりと手にしながら、安倍政権に対してしっかり対峙をしていきたい。そして原自連の皆さんが提案した原発ゼロ基本法をもとに、野党を超えて党を超えてしっかりと大きな取り組みに発展させていきたい。

④国会議員あいさつ：高橋千鶴子氏（日本共産党衆議院議員）

今年は正念場の年になる。東日本大震災と原発事故から丸7年目を迎えるにあたり、政府はもう色々な意味で原発事故を終わったことにしようとしている。どれだけの方が帰れないとか、帰ったけれども悩んでいるとか、そういう状況を全く無視して形の上で終わったことにしようとしている。

原自連の法案は、停止している原発は動かさない、動いているのは即座に止める、再稼働は新設もしないと明確に言っている。皆さんと一緒に頑張りたい。



⑤福島からの報告：斎藤富春氏（福島県労連議長）

生業訴訟判決の内容、伊方原発3号機運転差し止めの広島高裁の判決、そして小泉元首相を先頭にした原発ゼロ・自然エネルギー基本法案、これらを大きな世論にしながら、東京電力福島第二原発の廃炉、完全賠償、住民一人一人の生活と生業の再建に向けて、今後もふくしま復興共同センターとして取り組んでいきたい。

